
大切なこと。

劉微

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大切なこと。

【Nコード】

N2322P

【作者名】

劉微

【あらすじ】

チエンメできたのを、とても感動したので投稿しました

今、あなたには
心に想う人がいますか？

いる人には
特に読んでほしい

今がどれだけ幸せなのか
今がどれだけ奇跡なのか
知ってもらうために

世界には
何億人もの方がいます

もしあなたが100年生きるとする

そうすると

31536000000秒

あなたは生きられます

でも、もしも

1秒に1人の人と会っても
世界中の人と会うには
とても時間が足りません

そんな中で

巡り会えたこと

それは

奇跡に近いことです

何秒も眺めていれること

本当に本当に

すごいことなんです

まして、お互い

同じ気持ちになれたなら

それは幸せなことです

なのはどうして

付き合っただばかりの頃の
あの気持ちを、長続き
させられないのですか？

2人出会えたことは

偶然と運命と奇跡が
3つ手を組んでできた
素敵なことなのに

人を好きになるって
大変なことなんだ

世の中には
たくさんの人がいるのに
1人だけしか
見えなくなるんだよ

なんで好きになったのか
そんなくだらないこと
関係ないやんか

一目惚れ、気が合う
かつこいい、かわいい
だんだんひかれあつた

理由はなんだって良い
だけど

中途半端

これだけはやめなさい

相手が傷つくだけだから

そんな気持ちなら

恋愛なんて

しないほうがましだよ

本気で一緒にいたい

そう想える人が

現れるまで

恋愛なんかしないで

別れたあとに

付き合わなければ

よかった

なんて言ってる人

なんだかんだ言っ

それは言い訳なんだよ

そんなこと言うなら

もっと頑張っ

よかったやん

それは自分への
言い聞かせでもあるから

悔いがある証拠だから

時には喧嘩もする

信じられなくもなる

だけど、それは

相手のことが大切だから

そんな時こそ

相手の存在の大きさ

考えなくちゃいけない

泣きたい時は泣けばいい

泣かないのが

強い人間って訳じゃない

泣いたあと

どれだけ笑えるか

大事なのはそこなんだよ

訳もなく

会いたくなったり

しょうもないことで

いらいらしたり

気づいてもらいたくて

相手に心配かけたり

しんどいくらいに

投げ出したいくらいに

考え込んだり

そんなことがあるかもしれない

だけど、ほら

相手が

他の人といるとこ

想像してごらん

なんか嫌でしょ？

手放したくないでしょ？

どんなことされても

憎めないでしょ？

それくらい

大きい存在なんだって

だから

今を大切にしなきゃ

相手を大切にしなきゃ

あなたなりの愛し方で

幸せだな

って感じた瞬間

あなたが世界で

1番幸せ者なんだよ

辛いことがあっても

すぐに投げ出さないで

ちゃんと

向かい合わなきゃ

喧嘩は、別れる
原因じゃないんだよ

幸せになるための
2人のための壁なんだよ

すぐ泣くのは女の武器？

それは違う

素直だから泣くんだよ

泣く理由を

わかってあげるのも
男の役目なんだから

体を求めるのはヤリ目？

それは違う

心から好きだから

それを理解するのも
女の仕事なんだよ

だけどお互い
やり過ぎると

自分がそんな気なくても

泣くたび男はその涙を
信じられなくなる

毎回抱くたび
女を傷つけていくんだよ

本気の恋なら

もう最後の恋愛

って想えるはず

相手に無理させたら

終わりを急いでるような
もんなんだからね

別れを告げるのは

最終手段なんだよ

愛した人が

思い出になること程
辛いもんはない

もうあなたのものじゃ
なくなっちゃうんだよ

失ってから気づくのは
もう遅いんです

だから今を大切に

相手を大切に

そして

愛する人がいる

ということに
感謝してください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2322p/>

大切なこと。

2010年12月1日06時21分発行